
虹に届くまで:番外編シリーズ

爽風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

虹に届くまで…番外編シリーズ

【Nコード】

N5387Y

【作者名】

爽風

【あらすじ】

虹に届くまでの番外編です。

本編では触れなかったキャラクターの、想いを、描ければと思います。

想いこの愛しい世界を抱き締めて

これは虹に届くまでの番外編です。

本編を是非読んでいただいてからこちらへどうぞ。

本編では触れなかったエピソードや、キャラの視点で書きたいと思っています。短編、読み切りで、読みやすくしたいと思っていますので、ぜひお付き合いを、よろしくお願いします。

それぞれに想いがある。

それぞれに誠がある。

それぞれに譲れぬ道がある。

でも、だからこそこんなにも世界は輝く。

この、愛しい世界を抱き締めて走ろう。

いつかくるさよならに、一番の笑顔で笑えるように。
そんな自分を好きになれるように。

君のいない世界1…水瀬明（前書き）

まことが死んだあとの、水瀬家の様子です。
指輪が意外なところから発見されました。

君のいない世界1…水瀬明

「午後八時十分、御臨終です。」

医者が無機質な声が消毒のにおいに満ちた病室に響く。

俺たちは何も言わなかった。

この日が来ることはわかりすぎていたから。
だからもう楽にしてやりたかった。

人工呼吸器を外すと青白いまことの顔があらわになる。

こんなふうに半年以上も眠っていたにも関わらず、髪や爪は少しずつ伸びている。

やっぱり、生きていたのだと思う。

確かに生きていたのだ。

物言わず、自分で満足に呼吸すらできなくてもこいつは生きていたのだと思う。

それが、たまらなくうれしい。

*

まことの葬儀はしとしと秋の雨が降る仏滅にしめやかに行われた。

まことの友達も参加してくれた。

あいつは慕われていたのだろう。

一通り、坊さんのお経が終わり、御棺が閉められる。

花に埋もれたまことはまるで笑っているようにすら見えた。

静かに眠れよ。
お疲れ。

その日の午後、あいつは骨になって戻ってきた。

＊

「終わったな…。」

「ああ。」

俺たちは部屋のリビングに腰を下ろし、誰にともなくつぶやいた。
終わった。

まことは死んだのだ。
それがじわじわと実感となって現れる。

「葬式ってさ…やっぱり後に残った人間の気持ちの整理つけるため
にあるんだろうな。前はさ、死んだらそこでおわりだから葬式なん
てどうでもいいって思ってたんだ。でも、やっぱり違うな。
区切りをつけるためにも、やっぱり大事だな。」

珍しく昴が気持ちを吐露した。

「ああ。そうだな。死んだ人間に思いを馳せ、きれいな思い出に変
えて、心にしまつて、残った人間は生きていくんだ。」

司兄貴も、コーヒーを飲みながら静かに言った。

ふと俺は思う。事故かなんかで突然死ぬのと、こんなふう ゆった

りと徐々に死へ向かっていくのと、どちらがつらいのだろうと。
まことの死はわかっていた。

だからこそ、こんなふうに今穏やかな悲しみのなかにいるのだろう。

ただわかること、それはまことは死に、俺らは生きていと言うことだけ。

俺らは生きなければいけない。

お前のいない世界を。

＊

まことの死から3ヶ月、徐々に俺らの日常が戻ってきた。

そしてある日、何の気なしにつけていたテレビに、映されたものを見て俺は驚愕した。

” 戊辰戦争時の遺体か？ 新たな遺品見つかる！ ” という見出しで函館の様子が写し出され、そのあとに、遺体のそばにあった古びた指輪がアップになる。

それは：

お袋の形見。

まことが持っていたものだった。

指輪の内側には” to yoko, forever love ”
Forever のつづりが間違っている。

親父が自分で掘ったらしいのだが、大事な結婚指輪の文字を間違えるなんて、親父らしくて呆れるとわらったことを、思い出した。

それが、なんで五稜郭にある？

まことがもっていたはずのものが、なぜここにある？

雷に打たれたあとどこかに落ちているのではないかと、じいちゃんちを探しても結局見当たらなかったのだ。

しかも、戊辰戦争だと？

150年まえの日本になぜまことの、お袋の形見がある？

発見された遺体は骨格から男性のものらしいとのこと。

専門家のなかには土方歳三の遺体だと言うものもいるらしい。

俺は理解ができなくて吐きそうになった。

そのいたいが土方歳三でも、誰でもいい。

ただ、あの指輪の謎を解かなければいけない気がしていた。

おれは、2週間後、たまっていた有給を使って函館へ向かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5387y/>

虹に届くまで:番外編シリーズ

2011年11月21日17時06分発行